



釧路あすなろクラブ会報

2013年 2月号

平成 25 年度年間テーマ 『自分達で築こう新しい釧路』

■ 平成 25 年 2 月 例会報告 【執行部担当例会】

題 目 『資源・輸送・移住から持続利用』～地域形成と転換点のキーワード～
 開催日時 平成 25 年 2 月 21 日 (木曜日) 午後 6 時 30 分～
 開催場所 釧路キャッスルホテル 1 階
 出席者 第一部会 7 名 第二部会 7 名 第三部会 8 名 第四部会 7 名
 合計出席者数 29 名 (全 47 名) 出席率 61.7%



■■■■■■■■■■ 例会報告 ■■■■■■■■■■

■ 会長挨拶 ■

皆様、お晩でございます。2月も半ばを過ぎ、暦の上では立春を迎え、日差しも強くなり、温かさを感じる今日この頃です。さて、今年のアスナロクラブの会長方針であります「自分達で築こう新しい釧路」を目標にして、一年間活動したく思っております。2月例会はこの釧路の先駆者たちが築いてきた歴史を知る例会にしようと、「資源・輸送・移住から持続利用—地域形成と転換点のキーワード—」をもとに、釧路短期大学教授の佐藤先生をお招きして、釧路の歴史を勉強しようと思っております。本日は、ご多忙のところ佐藤先生には足をお運びいただきありがとうございます。

■ 例会内容 ■

釧路短期大学 教授 佐藤 宥紹 様 講演

『資源・輸送・移住から持続利用』～地域形成と転換点のキーワード～

地域形成の時代は、資源・石炭・木材・漁業等の資源を運び出す、担い手に鳥取、新潟、富山から来たとか移住の人達が組み合わさって、1975年迄の歴史は、資源・輸送・移住の3つから分かる様になっている。しかし、1975年を境に、この街は変わり持続利用等が新しいキーワードになっております。

① 島義勇・犬塚与七郎宛 松浦武四郎書状

松浦武四郎が北海道にやって来て6度目の年の安政5年に手紙を書く。佐賀藩の人に佐賀に帰って、北海道の中でどこを一番に開墾したら良いか聞かれたら、東蝦夷地クスリ(釧路)が適正だと答えなさいと言う。

釧路あすなろクラブ

3月例会のご案内

2月例会は釧路短期大学 教授 佐藤 宥紹様に、ご講演いただき釧路発展の歴史を遡り、私たちがこれから釧路の未来をどのように考えるかを学びました。

3月例会は帝国データバンク 伊藤 辰夫様をお招きし、地域価値の向上について、ご講演して頂きます。

・ ・ ・ ・ ・ 3月例会 ・ ・ ・ ・ ・

■ 例会内容 ■ 『地域を元気に～地域価値の向上について～』
講師 帝国データバンク
参与 伊藤 辰夫 様

■ 開催場所 ■ 釧路キャッスルホテル

■ 日 時 ■ 平成 25 年 3 月 14 日 (木曜日)
食事 午後 6 時～
例会 午後 6 時 30 分～

■ 出欠連絡 ■ 締め切り 3月 8日 (金) 必着
★出欠・食事の有無に○を付け、各部長さんへ F A X お願いいたします

氏名

3月例会 出席 ・ 欠席

食事 有 ・ 無

■ 各部長の F A X 番号 ■

一部会	安代久仁	36-7892	二部会	前田俊明	24-9538
三部会	杉本眞美	92-5259	四部会	岩田義雄	65-9731

会報のメール配信をしております。メール配信をご希望される方は PDF 形式にてメール配信をいたしますので事務局次長 久保 までメールをください
皆様のご協力よろしくお願い致します

久保メールアドレス【 kuboban@ark.ocn.ne.jp 】 携帯 090-5076-0511
